

## 重要データ自動バックアップシステムのご提案

### ■ パソコン内のデータは、いつ無くなるかわかりません。

【ご注意】料金は税抜表示です。

- ・データが保存されているハードディスクやSSDは壊れやすい装置なのです。

パソコンの故障のうち、ハードディスク故障の割合はかなりの割合を占めます。ハードディスクが故障すると、大切なデータが読めなくなってしまう可能性があります。

試しに、インターネットの検索で「ハードディスク 故障 確率」で検索結果を表示してみてください。

ハードディスクは、かなりの確率で壊れるものであることがお分かりいただけると思います。

- ・お客様ご自身でバックアップしているデータからの復元では、トラブルを起こすケースが過半数を占めます。

Windowsのバックアップ機能をお使いの場合、データ復元するには同じ環境のPCが必要です。PCを買い換えてデータ復元する際にうまくできないケースが多いです。また、ご自分で外付けハードディスク等にバックアップしている場合、必要なデータが揃っていないとか古すぎるといったトラブルが多く発生しています。お使いのソフトウェアによっては普段は目にしない特殊なフォルダにデータを格納していますので、ご自分でバックアップを取ることが難しい場合があります(メールソフトのデータなど)

### ■ 「重要データ自動バックアップシステム」とは？

- ・外付けハードディスク装置に**重要なデータを自動的にバックアップ**します。

パソコン内蔵ハードディスクに障害が発生しても、外付けハードディスク内に、自動バックアップした重要データがあるので、安心です。

自動バックアップソフト



Windowsパソコン

外付けハードディスク

外付けハードディスクは、バックアップ用途以外にも利用できますが、情報漏えい防止の為、紛失等にはご注意ください。

3.5インチ型外付けハードディスク装置(セキュリティスロットが装備されている装置)であれば、机の脚等にワイヤーロックするセキュリティワイヤー装備もオプション料金で可能です。

セキュリティスロットがあるPCなら、セキュリティワイヤーによるロックが可能(オプション料金)です。

### ■ システム構築料金

**標準構成18,000円＋出張料10,000円(東京都区内の場合)**

(パソコン1台当り / オプションは含まれておりません。システム構築時のバックアップデータ量が60GB以上の場合は+4,000円となります)

\* 外付けハードディスク装置代は含まれておりません。既存の外付けハードディスクに必要十分な空き容量があれば、その機器を使用することも可能です。容量等によって価格は変わりますが、量販店や通販等で1万円程度でご購入可能です。容量目安は通常のオフィスPCでは500GB～、デザイン・設計・TV録画や動画保存の多いPCなどでは1TB～。複数台のPCで共用する場合は、より多くの容量が必要です。

### ■ 自動バックアップする重要データの選択

標準構成(1アカウントまで)	デスクトップ	マイドキュメント	マイピクチャ	マイビデオ	マイミュージック	インターネット(IE)のお気に入り
オプション(料金)	バックアップフォルダ追加(1000円/フォルダ)	メールデータバックアップ*4(4000円～)	特定アプリケーションソフトデータのバックアップ(2000円～)			

【ご注意】料金は税抜表示です。

■3つのバックアップ方式(3方式併用が最も安心です)

	ミラーリングバックアップ	冗長バックアップ	世代管理バックアップ
標準/オプション(料金)	標準	オプション(+3000円)	オプション(+3000円)
方式の特徴	同期方式のバックアップです。フォルダ構造そのままにバックアップ(同期)します。 これにより、フォルダ構造がそのままなので、全体および部分の復元が容易にできます。	ミラーリング(同期)しないバックアップ方式です。バックアップ先のファイルやフォルダを消さないで、過去にバックアップされたデータも残ります。 従って、誤って削除したデータについて、バックアップデータがあれば、冗長バックアップフォルダ内から検索できます。	更新されたファイルについて、既にバックアップされている過去バージョンのファイルを世代管理フォルダに移して管理します。その為、あるファイルを過去のバージョンに戻したい場合等に、世代管理フォルダ内を検索して過去バージョンを探すことができます。誤って上書きした場合は、自動バックアップ前はミラーリングバックアップフォルダから戻せます。自動バックアップ実施以後は、世代管理バックアップフォルダから探す事ができます。
内蔵ハードディスク故障時のデータ復旧適性	○	△	×
誤削除データの復旧適性	△	○	×
誤って上書きしたデータの復旧適性	△	△	○

・自動バックアップのタイミングは下記からご選択可能です。

外付けハードディスク装置を接続している事が多い場合にお奨めの方法

一定間隔(時間単位、日単位)で自動バックアップ

外付けハードディスク装置を普段は接続していない場合にお奨めの方法

外付けハードディスクが接続された際に自動バックアップ

(\* お使いのシステム環境によっては、この方法をお使いいただけない場合があります。

その場合、一定間隔でのバックアップを設定させていただきます)

**注意事項:**本システムをご導入頂く事前条件として、下記の注意事項の内容についてご了承いただいているものと見做させていただきます。ご不明点はお問い合わせをお願いします。

1. 外付けハードディスクが故障すると自動バックアップが行われません。また、パソコン自体の障害等によりバックアップソフトが動作できないと、自動バックアップが行われません。定期的なバックアップ状況のチェックは必要です。
2. バックアップ設定ファイルのフォルダ名を変更したり、フォルダを削除すると、自動バックアップが行われません。
3. Cドライブ内及び外付けハードディスク内の「■重要データ自動バックアップ」フォルダおよびそのフォルダ内の各フォルダの名前を変更したり、削除するとバックアップが正常に行われません。
4. アプリケーションソフトウェアが、使用中のデータをロック(他のソフトがアクセスできない状態)している場合、当該データはバックアップされません。OutlookやWindows LIVEメール等、メールソフト系はロックしているケースが多いです。この場合、バックアップ前にメールソフトを停止することでバックアップ可能です。
5. オンライン購入した音楽や動画、地デジの録画など、著作権保護(ガード)されているデジタルデータは自動バックアップしたデータでは再生できない場合があります。各々のアプリケーションソフトウェア(itunes等)から著作権データ付きでバックアップする必要があります)
6. バックアップできるファイルパス名の長さは、最大256バイトに制限されます。例えば、デスクトップ上の「LinkStation Manual」というファイルがあった場合、ファイルパス名の長さは62バイトとなります。極端に長いファイル名や極端に深いフォルダ階層でない限りは大丈夫です。

•C:\Documents and Settings\user\Desktop\LinkStation Manual

7. システム構成可能なOSは、Windows 10/8/7 /XP/VISTAです。

\* 料金・価格は2017年8月時点の税抜料金・価格です。別途消費税がかかります。料金・価格は予告無く改定される場合があります。